

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅠ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	北條彰子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標							
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～22	始業式、終業式					
	23～26	マナーコンテスト				① 集団行動のルール、マナーが理解できる	
	27～28	Language Day				② 集団行動のマナーが実践できる	
	29～38	校外研修（事前・事後学習含む）				③ 他人の発表を理解し、意見が言える	
	39～42	防災訓練				④ 本科及び異国籍の学生と コミュニケーションがとれる。	
	43～60	クラス活動				⑤ グループ活動に積極的に取り組む	
						⑥ 各行事についての振り返りができる	
	成績評価方法	平常点（100%）					
使用テキスト ／教材	なし						
関連科目	コミュニケーションサポートⅡ						
その他	社会人として必要な積極性・協調性を伸ばすために、全ての行事に積極的に取り組むこと。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	キャリア開発 I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	北條彰子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	日本の文化に関する知識を身に付ける。そして、2年次からの就職活動に向けて、業界、企業研究を行い、自分が就きたい職業を明確にする。日本で働く際に必要となる考え方についても理解を深める。						
授業手法	○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	現代日本事情			① 業界を理解する ② 職種を理解する ③ 企業選びの条件がわかる ④ 大企業と中小企業について理解する ⑤ 自分が就きたい職業が明確になる ⑥ 会社のホームページの見方がわかる ⑦ チームで働く力について理解する		
	7～8	日本の就職活動について					
	9～10	会社選びに必要な「自分軸」とは					
	11～18	業界研究					
	19～20	職種研究					
	21～31	企業について調べ、発表する。					
	31～34	～専門コースの説明会、就職ガイダンス～					
	35～38	企業研究					
	39～40	将来の自分像					
	41～48	大企業と中小企業					
	49～52	まとめ：会社選びのための「自分軸」レポート作成					
	53～54	まとめ：会社選びのための「自分軸」発表					
	55	「チームで働く力」について					
	56～60	自己分析					
成績評価方法	平常点（40%）提出物（20%）発表（40%）						
使用テキスト ／教材	「業界・企業研究入門 会社選びの第一歩」海外技術者研修協会、その他						
関連科目	「キャリア開発Ⅱ」						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ICTリテラシー I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	宮城島進一						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	基本的なPC操作の知識とスキルの習得を目指します。日本語タイピング入力、Excelで計算やグラフの入った表作成、Wordでさまざまなビジネス文書作成を習得していきます。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業 ○	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペーパーワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	パソコンの取扱い 学内ルール					
	3～8	Windows基本操作 ファイルとフォルダ			① パソコンの基本操作が理解できる		
	9～10	入力操作の基本 日本語タイピング			② データの管理方法が理解できる		
	11～14	インターネットとクラウドサービスの利用			③ スムーズに日本語入力ができる		
	15～16	情報モラルとセキュリティ			④ メールやWebコミュニケーションについてわかる		
	17～18	個人情報の取扱いと著作権			⑤ 情報モラル・情報セキュリティについてわかる		
	19～22	Word演習 基本操作、書式設定			⑥ Wordの概要と基本操作の習得		
	23～30	Word演習 課題			⑦ Excelの概要と基本操作について習得		
	31～32	Excel演習 Excelの基本			⑧ 表計算検定4級合格レベルのスキル習得		
	33～34	Excel演習 セル操作の基本					
	35～38	Excel演習 表の作成と編集					
	39～42	Excel演習 数式と参照					
	43～60	表計算検定演習					
成績評価方法	科目修了試験（40%）課題（50%）平常点（10%）						
使用テキスト ／教材	留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint 入門（技術評論社）、 情報処理技能検定試験「表計算」模擬問題集、文書デザイン検定模擬問題集						
関連科目	ICTリテラシー II						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	マナー・ホスピタリティⅠ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小澤恵巳子・阪本知恵・松永清美・草場美奈子・青柳宗宏						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	挨拶や立ち居振る舞いなど、日本社会における基本的なマナーを理解し、身につけることを目標とします。また、接遇における実践力を養います。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ ○
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	マナーブックを使ったマナー学習・授業開始終了の挨拶 (マナーの意味と必要性の理解)					
	5～8	マインドフルネス視聴と実践 マナーブックを使ったマナーの実践			① マナーの意味が理解できる		
	9～12	S-airのマナーの理解と実践			② マナーの必要性がわかるようになる		
	13～16	日本のマナー・礼儀作法を知る			③ 日本語で自分のことが話せるようになる		
	17～20	他国のマナー・エチケットからの異文化理解			④ 正しい日本語の理解が深まる		
	21～24	自己表現①正しい日本語で自己紹介（言葉遣い）			⑤ 接遇に必要な資質を知ることが出来る		
	25～28	自己表現②自分の考えを表現（伝え方）			⑥ 身だしなみへの意識を持つことが出来る		
	29～34	接遇のための日本語			⑦ 美しいお辞儀等の所作が身に付く		
	35～40	接遇に必要な資質（受験ガイドから学ぶ）			⑧ お客様対応の言葉遣いが分かるようになる		
	41～46	接遇ロールプレイ対策			⑨ 丁寧な言葉に言い換えることが出来る		
	47～52	サービス接遇3級問題に取り組む① 一般知識・社会常識			⑩ 接遇の場でのコミュニケーションが わかるようになる		
	53～58	サービス接遇3級問題に取り組む② 記述問題に取り組む					
	59～60	科目終了試験（筆記試験）					
成績評価方法	平常点（30％）発表（20％）課題提出（20％）科目終了試験結果（30％）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「MANNER BOOK 2026」、サービス接遇検定公式テキスト3級 講師作成プリント						
関連科目	マナー・ホスピタリティⅡ						
その他	毎回身だしなみチェック及びマインドフルネス実施						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	日本語プレゼンテーション I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	日本語の言語知識を高め、ビジネスシーンにおける発表やディスカッションができる日本語力を身に付ける。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション	<input type="radio"/>	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～3	食べ物・飲み物の歴史					
	4～6	日本各地の魅力			① ディスカッションに必要な情報を聞き、自分の意見をまとめることができる		
	7～9	ディスカッションとは、ディスカッション練習			② 語彙、文法の知識を増やし、使うことができる。		
	10～12	田舎に住むか、都会に住むか			③ ディスカッションを発展させる表現を増やし、使うことができる		
	13～15	アルバイトをするなら、何が一番いいか			⑤ 自分の考えをまとめ、話すことができる		
	16～18	新しい技術の影響			⑥ 相手の発表を最後まで聞き、理解できる		
	19～21	「やる気」について			⑦ ディスカッションにおいてグループで結論を出すことができる		
	22～24	田舎に住むか、都会に住むか			⑧ 発表やディスカッションについて評価することができる		
	25～27	外国人観光客への価格設定について					
	28～30	自由テーマディスカッション					
成績評価方法	平常点（100%）						
使用テキスト ／教材	『留学生のためのディスカッショントレーニング』 『東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズ J-PEAK 中級』						
関連科目	日本語プレゼンテーション II						
その他	ペアワーク、グループワークに積極的に参加しましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	日本語知識（文字・語彙）Ⅰ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	90	6	
授業目的 到達目標	日本語の言語知識（文字・語彙）を高め、日本語能力試験N2レベルの力をつける。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～20	話題別に言葉を学ぼう				① 語彙の知識を増やし、使うことができる ② 問題を解く技術が身に付く	
	21～25	JLPT模擬試験・解説①					
	26～30	まとめテスト・解説					
	31～40	意味がたくさんある言葉（動詞、形容詞、名詞）					
	41～50	意味が似ている言葉（副詞、形容詞、名詞、動詞）					
	51～60	形が似てる言葉					
	61～70	副詞					
	71～80	JLPT模擬試験・解説②					
	81～90	科目修了試験・解説					
成績評価方法	科目修了試験結果（40％）まとめテスト（30％）小テスト（20％）平常点（10％）						
使用テキスト ／教材	『新完全マスター日本語能力試験N2』語彙						
関連科目	日本語知識（文字・語彙）Ⅱ						
その他	予習、復習をしましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	日本語運用能力I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	日本語の文章読解力を高め、日本語能力試験N2レベルの力をつける。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～4	対比、言い換え				① 文章読解の知識を増やし、使うことができる ② 問題を解く技術が身に付く ③ ニュースを読んで意見が言える ④ 他者の話を聞いて自分の意見が言える	
	5～8	比喩、疑問提示文					
	9～12	主張表現、指示語					
	13～16	だれが、何が、なにを、下線部の意味					
	17～20	理由、例					
	21～25	JLPT模擬試験・解説①					
	26～30	まとめテスト・解説					
	31～34	ニュースの発表、スピーチ					
	35～38	広告					
	39～42	お知らせ					
	43～46	説明書き					
	47～50	表・リスト					
	51～55	JLPT模擬試験・解説②					
	56～60	科目修了試験・解説					
成績評価方法	科目修了試験結果（40％）まとめテスト（30％）小テスト（20％）平常点（10％）						
使用テキスト ／教材	『新完全マスター日本語能力試験N2』読解						
関連科目	日本語運用能力II						
その他	予習、復習をしましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	日本語文法I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	90	6	
授業目的 到達目標	日本語の言語知識（文法）を高め、日本語能力試験N2レベルの力をつける。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～10	ことがらを説明する				① 文法の知識を増やし、使うことができる ② 問題を解く技術が身に付く	
	11～20	主観を含めて説明する					
	21～30	JLPT模擬試験・解説①					
	31～40	まとめテスト・解説					
	41～50	主観を述べる					
	51～60	文法形式の整理					
	61～70	文の組み立て					
	71～80	JLPT模擬試験・解説②					
	81～90	科目修了試験・解説					
成績評価方法	科目修了試験結果（40%）まとめテスト（30%）小テスト（20%）平常点（10%）						
使用テキスト ／教材	『新完全マスター日本語能力試験N2』文法						
関連科目	日本語文法Ⅱ						
その他	予習、復習をしましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	文章表現						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	江木美穂子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		1	通年	選択	60	2	
授業目的 到達目標	論理的思考力をつける。物事を整理、分析し、筋道をたてて考える力をつける。 自分の意見や主張を理由付けしながら、表現できる。順序・理由を考える。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～14	キーワードをつなげて書く			① 助詞、文型を正確に使って書ける ② 構成を考えて書ける ③ 理由が書ける ④ 5W1Hを考えて書ける ⑤ 論理的に考えて書ける ⑥ 自分が言いたいことを伝えられる		
	15～28	順序を考えて書く					
	29～40	理由を考えて書く					
	41～46	ストーリーを考えて書く					
	47～56	スピーチ準備					
	57～60	スピーチ発表					
成績評価方法	課題作文（70%）平常点（30%）						
使用テキスト ／教材	日本語ロジカルトレーニング 中級（抜粋）						
関連科目	専門選択Ⅰ						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	漢字・語彙						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	・現代社会に関する様々なトピックやニュース記事によく使われる漢字を習得する。 習得した感じの基礎力や知識を活用し、専門的な情報を読み取る力をつける。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～4	1課 「日本列島」				① 部首、漢字の成り立ちがわかる ② 漢字から意味が類推できる ③ 漢字の書き方の基本が身につく ④ 社会に関わるトピックの漢字が読める ⑤ 既習漢字が正しく読み書きできる	
	5～8	2課 「日本の産業」					
	9～13	3課 「日本の貿易」					
	14～17	4課 「日本の景気変動」					
	18～21	7課 「国際首脳会議」					
	22～25	まとめテスト・解説					
	26～29	8課 「国際連合」					
	30～33	9課 「安全保障」					
	34～37	10課 「地球温暖化対策」					
	38～41	11課 「日本のエネルギー問題」					
	42～45	12課 「ネット社会の課題」					
	46～49	13課 「日本の進学事情」					
	50～53	14課 「日本の少子高齢化」					
	54～57	15課 「日本の雇用問題」					
57～60	科目修了試験・解説						
成績評価方法	科目修了試験結果（40％）まとめテスト（30％）小テスト（20％）平常点（10％）						
使用テキスト ／教材	『PRACTICAL KANJI 現代を読む700漢字Vol.1』AJALT アスク出版						
関連科目	専門選択Ⅰ						
その他	復習、宿題を必ずしましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	読解						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	安森 亜寿香						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	120	4	
授業目的 到達目標	・日本語の文章を読むテクニックを身に付け、読解の読み方がわかるようになる ・読解力、語彙力、漢字力を付ける						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～10	文の構造をとらえましょう					
	11～20	前件と後件の関係をつかみましよう			① 語彙力が付く		
	21～26	省略されているものが何か考えましよう			② 漢字が読めるようになる		
	27～30	関連のある言葉を探しましよう			③ 漢字から意味が類推できる		
	31～34	文末に注目して筆者の意見を見抜きましよう			④ 文法能力の向上		
	35～48	大切なことを伝えるサインをつかみましよう			⑤ 読解文の読み方がわかるようになる		
	49～54	目印を使って内容を整理しましよう			⑥ 指示詞が指すものが読み取れる		
	55～66	コラムやエッセイを読んで筆者の主張や意図を把握			⑦ 省略しているものが読み取れる		
	67～78	プロフィールや伝記を読んで、人物がたどった経緯を把握			⑧ 筆者の主張が読み取れる		
	79～86	対話形式のテキストをを読んで発言の要点を把握			⑨ 読解文の音読が上手にできる		
	87～94	伝記やドキュメンタリーを読んで、人物の特徴を把握					
	95～102	自己啓発書の一節を読んで、提案と根拠を把握					
	103～116	新聞のコラムや特集記事を読んで問題点などを把握					
117～120	科目修了試験 解答・解説						
成績評価方法	科目修了試験（50％）小テスト（30％）平常点（20％）						
使用テキスト ／教材	「留学生のための読解トレーニング」「読む力中級」						
関連科目	専門選択Ⅰ						
その他	読解の読み方を知ったら、読むことが楽しくなります。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	会話						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	田中 彰子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活でよく使う場面での会話練習をし、会話能力をつける。 ・正しい日本語で自分が言いたいことを相手にきちんと伝えられるようになる。 ・日本語で豊かなコミュニケーションができるようになる。 						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ ○
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	自己紹介、教室の入退室、事務室での会話			① 人間関係や場面に応じた表現の使い分けができる ② 相手の気持ちに配慮した言い方ができる ③ 相手が述べた情報を正確に聞き取る ④ 相手の意図や感情を正しく理解する ⑤ 正しいイントネーションを身につける ⑥ 会話のやりとりの能力を伸ばす		
	3～4	学校・アルバイト先への電話連絡 他					
	5～10	伝言（不在を伝える、伝言を申し出る/頼む）					
	11～16	許可（許可を求める/与える、条件を述べる 他）					
	17～22	勧誘（誘う、誘いを受ける/断る 他）					
	23～24	ロールプレイ発表					
	25～30	依頼（依頼をする/引き受ける/断る/あきらめる）					
	31～36	確かな情報・不確かな情報					
	37～42	文句・苦情（事情を説明する、言い訳する 他）					
	43～48	提案（提案を述べる、提案に賛成/反対する 他）					
	49～54	感想（状況に満足していることを述べる 他）					
	55～56	ロールプレイ発表					
	57～58	科目修了試験					
	59～60	試験フィードバック、まとめ					
成績評価方法	科目修了試験（50%）会話練習・発表（30%）平常点（20%）						
使用テキスト ／教材	『聞いて覚える話し方 日本語生中継（中～上級）』						
関連科目	専門選択Ⅰ						
その他	リスニング能力を高め、実生活で適切に話せる能力を身につけましょう。						